

02

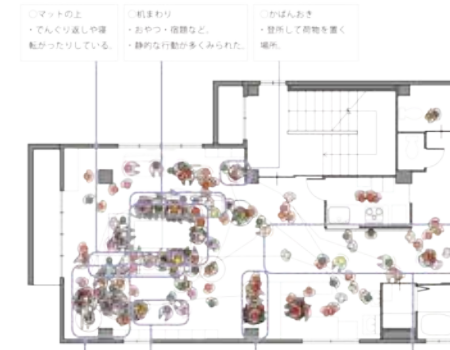
ぷらちな児童デイ

放課後等児童デイサービス（障がいのあるこどもの通所施設）

自改修前の空間では、動的活動と静的活動の混在、生活動線の混乱、スタッフの業務場所からの見守りと独立性のバランスがとれていないこと、などの課題がありました。これを解決するために家具などの制作と施工により動線の整理、ゾーニング、活動に合わせた場所の設定を行いました。この結果、こどもが落ち着いていられる場所やスタッフが見守りやすい構成などを実現できました。

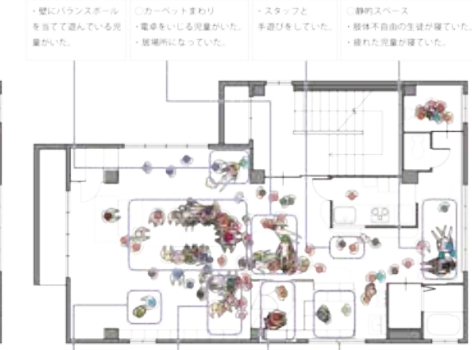


■改修前利用状況（プロット結果） 2013.09.30 15:00 - 17:50



・マットの上
 ・でんぐり返しや寝転がりしている。
 ・机まわり
 ・おやつ・休憩など、静かな行動が多くみられた。
 ・かばん置き
 ・壁際して荷物を書く場所。
 ・トランポリンやタイルを使って転倒基地づくりをしていた。
 ・机まわり
 ・転落やラジカセで遊んでいた。
 ・事務スペースまわり
 ・児童がスタッフの様子を伺っている。
 ・高校生の生徒が手洗いしている。
 ・動き回ることも多くみられる。
 ・児童がスタッフの様子を伺っている。
 ・キャッチボールをしている。

■改修後利用状況（プロット結果） 2013.12.16 15:30 - 17:25



・壁にバランスボールを当てて遊んでいる児童がいた。
 ・カーペットまわり
 ・電卓をいじる児童がいた。
 ・壁際になった。
 ・スタッフと手遊びをしていた。
 ・静かなスペース
 ・身体不自由の生徒が遊んでいた。
 ・寝た児童が遊んでいた。
 ・ラジカセを気にする児童がいた。
 ・マットを組み立てて壁付けをしている児童がいた。
 ・事務スペース
 ・スタッフがPCをしていた。
 ・生活スペース
 ・荷物を取りまわす。
 ・一部の児童がスタッフと話していた。

児童を特定して1人ひとりを色分け
例：●A君 ●B君 ●スタッフ

児童を特定して1人ひとりを色分け
例：●A君 ●B君 ●スタッフ

改修前

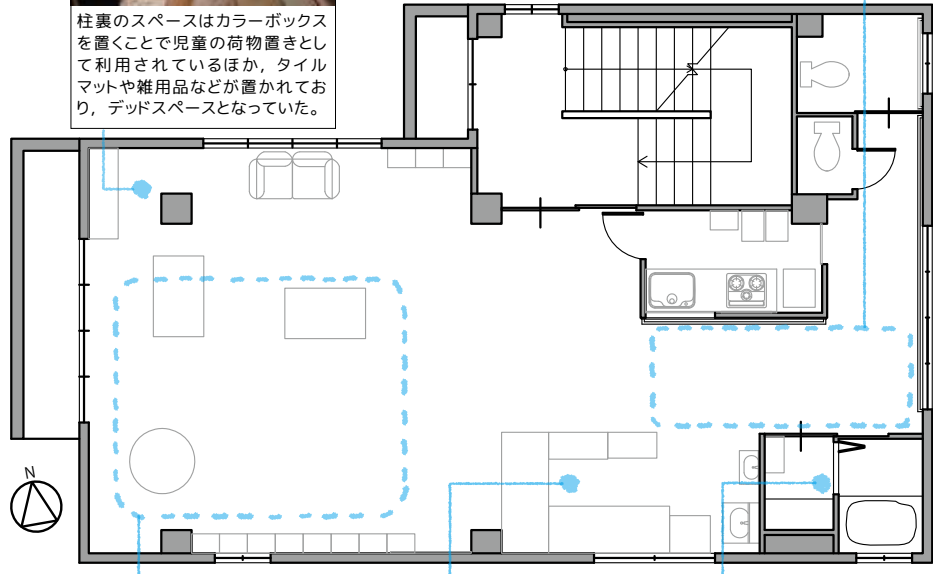
- 改修要求事項
- ・ 収納スペースの不足及び今後予想される人数の増加に伴う活動スペースの不足の解消。
 - ・ 児童、生徒の上着等の置き場、スタッフの荷物スペースの確保。
 - ・ コンパクトな事務スペース（児童、生徒が勝手に入れないスペース）。
 - ・ 必要なスペースを確保しつつ、広さを維持する。



柱裏のスペースはカラーボックスを置くことで児童の荷物置き場として利用されているほか、タイルマットや雑用品などが置かれており、デッドスペースとなっていた。



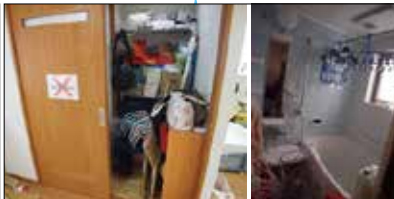
改修前はキャッチボールや動き回るなど動的な活動がキッチン・浴室前でも行われていた。



絵本を読むなどの静的な活動に使われる一方で、トランポリン等の動的な遊びも行われていた。



改修前は書類棚や衣装ケースを利用し、事務スペースとして空間を確保していた。明確な境界や仕切りがなく児童が事務スペースに入ってくるがあった。



改修前は脱衣所および浴室は金物ラックやカラーボックスを置くことで荷物置き場として利用されており、本来の機能としては利用されていなかった。また、脱衣所のドアは施錠が出来るため職員の仕事スペースに入ってくるがあった。

改修後

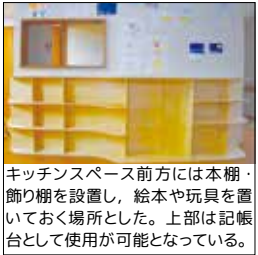
- コンセプト
- 曲線を使い全体的に滑らかに計画しつつ、静的・動的スペースの分離をはかる。動的空間は黄橙色、静的空間は薄黄緑色をカラーコンセプトとしてスペースを視覚的に明確にする。



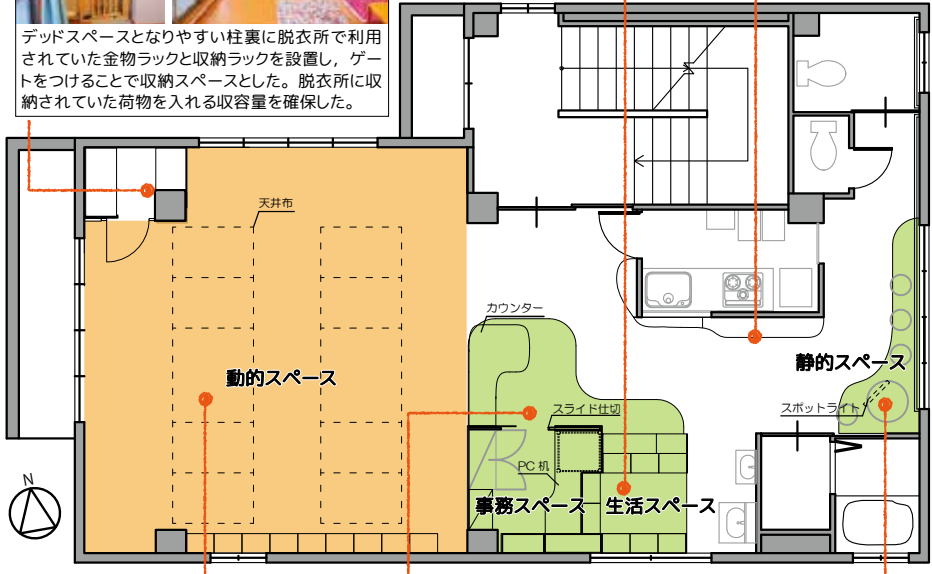
デッドスペースとなりやすい柱裏に脱衣所で利用されていた金物ラックと収納ラックを設置し、ゲートをつけることで収納スペースとした。脱衣所に収納されていた荷物を入れる収容量を確保した。



生活スペースは児童の荷物置き場としつつ、囲われたスペースにすることでカムダウンスペースとしての機能を果たす。



キッチンスペース前方には本棚・飾り棚を設置し、絵本や玩具を置いておく場所とした。上部は記帳台として使用が可能となっている。



動的スペースは広さを維持し、天井にはカラーコンセプトである黄橙色の布を吊った。この布は空間分や書類類を集約した。PC机側面に滑りを明確にするという視覚的効果と騒音対策としての機能を持つ。



事務スペースは広さを抑えつつも以前は分散していた職員の荷物棚や書類類を集約した。PC机側面にはスライド仕切を設け事務スペースとして児童の侵入を制限した。



静的・動的活動が混在していた問題に対し、浴室前の廊下の一部を静的スペースとして確保した。ここでは静的スペースのカラーコンセプトである薄黄緑色の絨毯と大小のクッション、スポットライトを設置することで落ち着きのある場所とした。



03

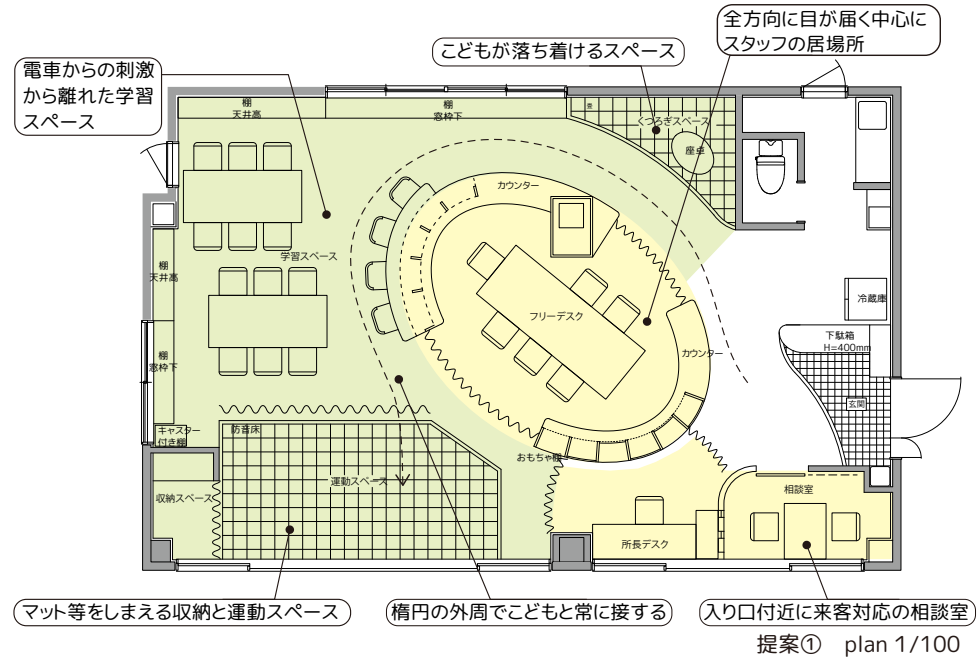
ジョイナス中村橋

放課後等児童デイサービス（障がいのあるこどもの通所施設）

オフィスから障がい児の通所施設である放課後等児童デイサービスに転用する事例です。スタッフからの聞き取り調査と現行施設の観察調査を行い、ニーズと課題の整理をして内装の提案をしました。提案①ではスタッフスペースを中心にいて見守りと支援のしやすさに配慮しました。スタッフスペースの周囲には動的活動スペース、静的活動スペース、クールダウンスペース、相談室を配置しました。最終的にはこの案を含む3案を提示しスタッフと打ち合わせを重ねていきました。

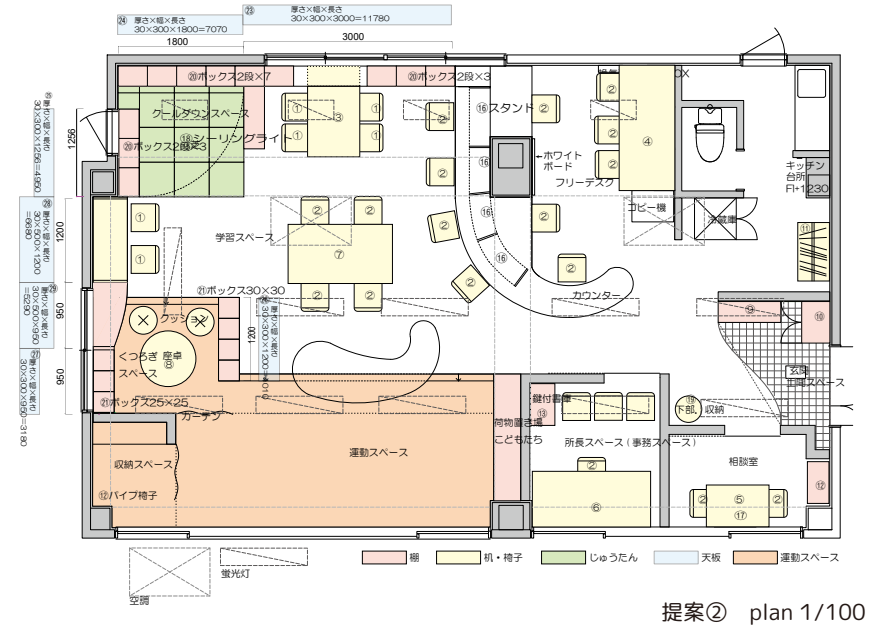


提案①



提案① 模型写真

提案②



提案② 模型写真



04

幼児教室ファピ 天神教室レクルン

眼鏡販売店舗から、就学前幼児の教育、子育て支援施設への転用事例。インプットとアウトプットがプログラムの特徴であったため、暗・静と明・動の空間をつくる提案をしました。もともとの空間と設えを活かし、提案から内装や環境づくりの提案と実施での施工までを一貫して行いました。その後、建築学会福祉施設小委員会(福祉転用ワーキング)での見学会の実施など、学外者との情報と評価の共有などの機会を設けています。



提案コンセプト

光と風に優しくそよまき力強く育つ草木

光, 風, 草木
 3つの要素をモチーフに
 明るく爽やかで優しい空間づくりを
 目指します。
 動的活動には木陰の草原
 静的活動には星空のしたのおうち
 をイメージした空間演出をします。



快適なユーティリティスペース



ラウンジ



エントランス



柔らかな光を取り込むラウンジの棚



ファビの木



星空をイメージしたカーテン

作業風景





05

子連れワーキングスペース

廃校になった小学校の1階教室部分を転用した、子連れワーキングスペースを提案しました。大きくはワーキングスペース、保育スペース、授乳／休憩スペースで構成されており、ワーキングスペースには個人の専用ブースとフリーアドレススペース、ミーティングスペースがあります。保育者のスペースは見守りやマネジメントがしやすい位置に置き、動線と活動場所の兼用、軸線の設定等で限りのある面積の中で空間の拡がりを感じられる配置に留意しています。



提案図面



提案 plan 1/100